

2. 発生状況

運輸安全委員会は、平成28年12月までに128件の重大インシデント調査報告書を公表しています。この128件について、重大インシデントの類型別にみると滑走路誤進入26件、発動機停止等23件、オーバーラン・滑走路逸脱18件、接近14件及び発動機破損14件などとなっています。(図2参照)

各重大インシデントのうち、操縦者や管制官など運航に係る者の要因(人的要因)により多く発生しているのは、接近、滑走路誤進入及びオーバーラン・滑走路逸脱となっています。

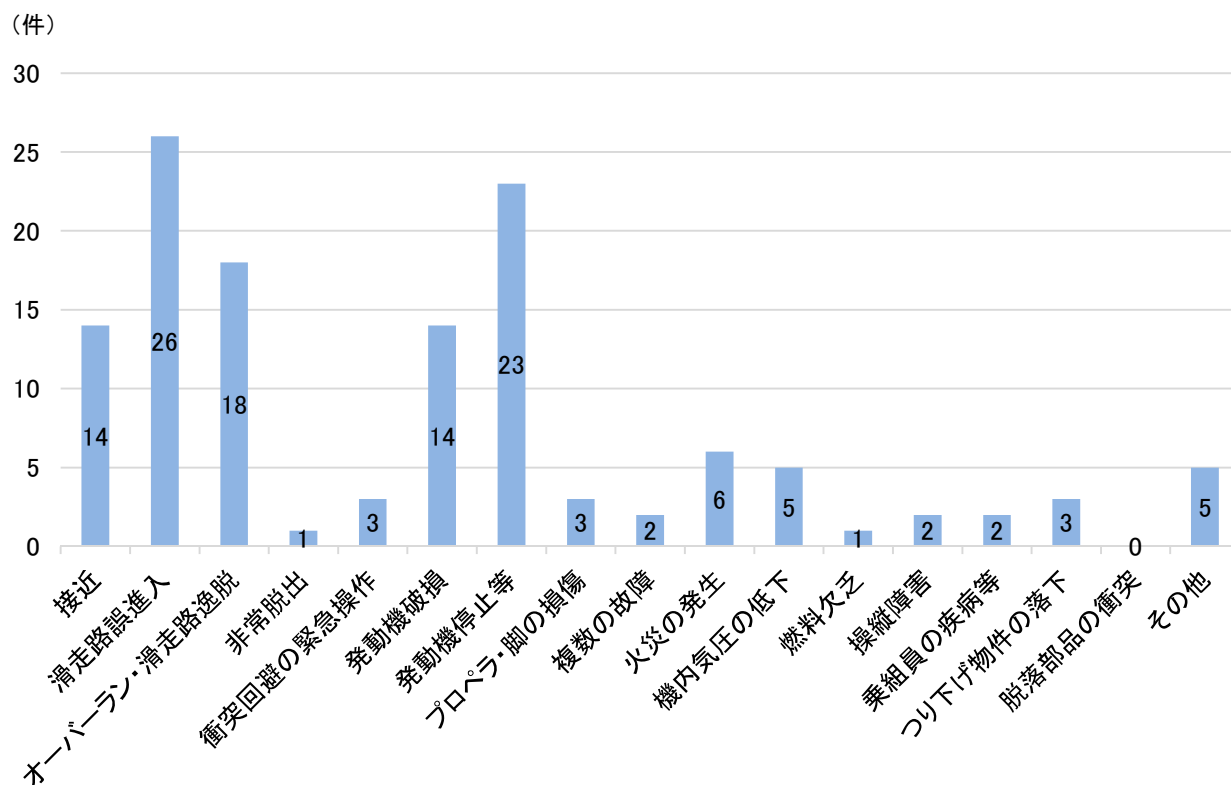


図2 重大インシデントの類型別発生状況(報告書公表済みのもの)

接近 … 航行中他の航空機との衝突又は接触のおそれがあったと認めた事態

滑走路誤進入 … 閉鎖中の又は他の航空機が使用中の滑走路からの離陸又は離陸中止、同滑走路への着陸又はその試み

オーバーラン・滑走路逸脱 … オーバーラン、アンダーシュート及び滑走路からの逸脱(自力地上走行不能に限る)

非常脱出 … 非常脱出スライドを使用して非常脱出を行った事態

衝突回避の緊急操作 … 飛行中に地表面又は水面への衝突又は接触を回避するために緊急操作を行った事態

発動機破損 … 発動機の破損(破片が発動機のケースを貫通した場合に限る)

発動機停止等 … 飛行中における発動機の継続的な停止又は出力若しくは推力の喪失

プロペラ・脚の損傷 … 航空機のプロペラ、回転翼、脚等が損傷し、当該航空機の航行が継続できなくなった事態

複数の故障 … 航空機に装備された一又は二以上のシステムにおける航空機の航行の安全に障害となる複数の故障

火災の発生 … 航空機内における火災又は煙の発生及び発動機防火区域内における火災の発生

機内気圧の低下 … 航空機内の気圧の異常な低下

燃料欠乏 … 緊急の措置を講ずる必要が生じた燃料の欠乏

操縦障害 … 気流の擾乱、異常な気象状況との遭遇、航空機に装備された装置の故障等より操縦に障害が発生した事態

乗組員の疾病等 … 航空機乗組員が負傷又は疾病により運航中に正常に業務を行うことができなかった事態

つり下げ物件の落下 … 物体を機体の外に装着し、つり下げ、又はえい航している航空機から、当該物件が意図せず落下し、又は緊急の操作として投下された事態

脱落部品の衝突 … 航空機から脱落した部品が人と衝突した事態

その他 … 前記に掲げる事態に準ずる事態

■ 接近の発生要因

接近 14 件のうち、双方が関係機を視認できなかった又は発見するのが遅れた案件が 5 件、片方が関係機を視認できなかった又は発見するのが遅れた案件が 3 件などとなっています。双方が視認できなかった案件のうち 4 件が、もや等により視認しづらい気象状態であったことが関与要因となっています。(図 3 参照)

また、関係機に関する交通情報について、操縦者が関係機や先行機を誤認したことによるものが 2 件、その他、操縦者が自機のトランスポンダーを作動させていなかった又は管制機関と通信設定をしていなかったため管制官が交通情報を提供することができなかったものもありました。

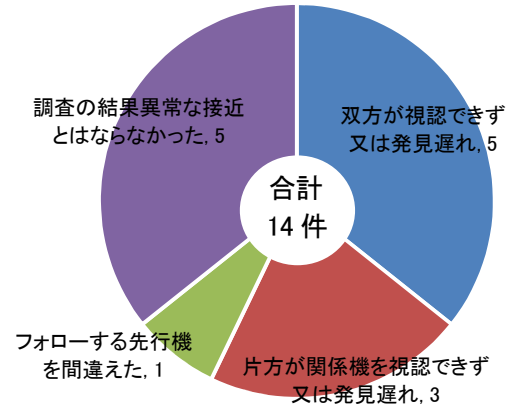


図 3 接近の発生要因

■ 滑走路誤進入の発生要因

滑走路誤進入 26 件は、航空機が停止すべき地点を越えて滑走路に進入したものが 13 件、閉鎖中の又は他の航空機が使用中の滑走路への着陸又はその試みが 10 件、他の航空機が使用中の滑走路からの離陸又はその中止が 3 件となっており、すべて人的要因により発生しています。

とりわけ、操縦者が待機の指示などを聞き間違えたことによるものが 9 件、航空管制官（自衛隊の管制員を含む）が、滑走路が閉鎖中であることや他機が存在を失念したこと等により誤った許可・指示を行ったことによるものが 7 件となっています。(図 4 参照)

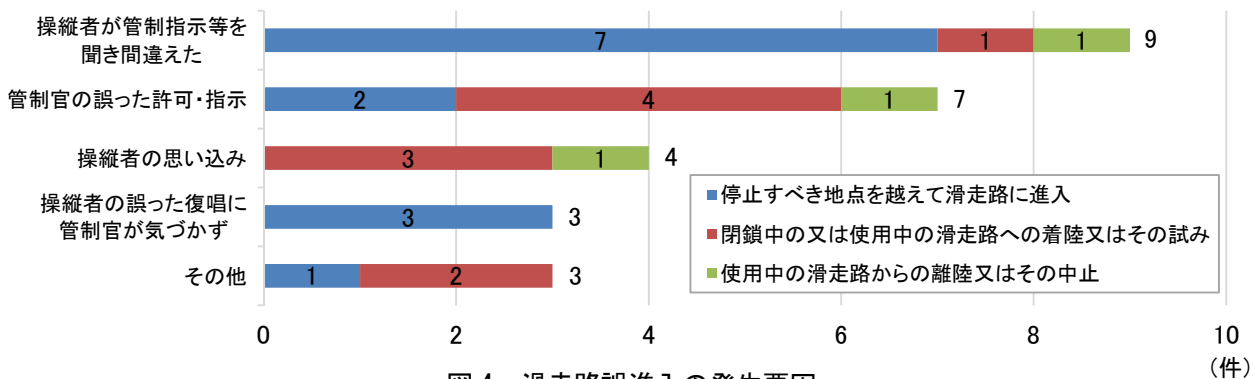


図 4 滑走路誤進入の発生要因

■ オーバーラン・滑走路逸脱の発生要因

オーバーラン 6 件については、着陸時の接地位置が延びたことにより発生したものが 4 件となっています。(図 5 参照)

滑走路逸脱 12 件については、エルロン・ラダーの不適切な操作により発生したものが 6 件、その他の不適切な操作により発生したものが 3 件などとなっており、この中には風の影響により操作を誤ったものが 6 件ありました。(図 6 参照)

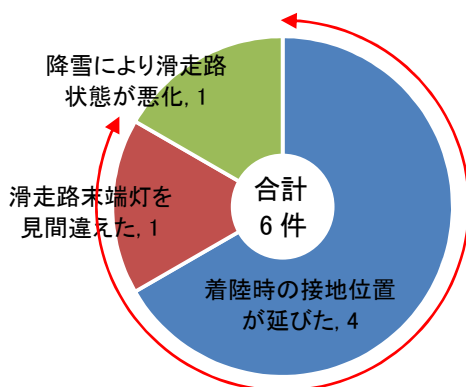


図 5 オーバーランの発生要因

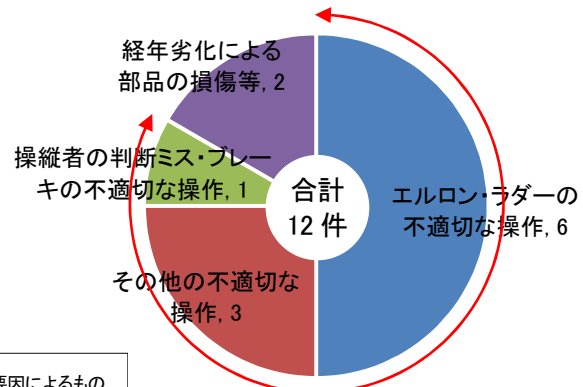


図 6 滑走路逸脱の発生要因

↔ 人的要因によるもの